



Press Release

HBC 北海道放送株式会社

※「ガッチャンコ」とは…

「くっつける」「ひとつになる」という意味で使われる言葉。
HBCが、人と人、地域と地域を「つなぐ」存在でありたい
という願いがこめられています。

2021年4月7日

倉本聰脚本ドラマ(HBC 北海道放送制作)

幻の傑作「遠い絵本」(1部・2部)

札幌の映画館「シアターキノ」で上映会

HBC 北海道放送は自社制作ドラマ 3 本を収録した創立 70 周年記念 DVD「倉本聰ドラマコレクション」を発売中ですが、この機会に倉本聰氏が脚本を担当したドラマ「遠い絵本」(1 部・2 部)の上映会を札幌市内の映画館で開催します。

同作品は1979年に HBC が制作し、「東芝日曜劇場」で全国放送したドラマで、これまで再放送されたことがない「幻の傑作」です。当時の地方局としては異例ともいえる海外ロケを行い、アメリカ・アンカレッジと小樽を舞台にした 2 部作です。運河存続問題に揺れていた 70 年代の小樽の街が映し出されるところも見どころです。

会場はシアターキノ。北海道の映画映像文化に貢献し、映画好きが集まることで知られるミニシアターです。テレビで放送した名作ドラマが劇場のスクリーンによみがえります。

HBC ではドラマやドキュメンタリー番組など自社ライブラリー秘蔵の名作を、これからも多くの方に見ていただくために、定期的に上映会を行なう予定です。

なお、当日、会場では「倉本聰ドラマコレクション」DVD の販売も行います。

◆上映作品「遠い絵本」(1部・2部) 作品概要

【放送】 1979(昭和 54)年 8 月 12 日、19 日

【脚本】 倉本聰 【演出】守分寿男

【出演】 池部良・八千草薫・大竹しのぶ・三田村邦彦 ほか

【ストーリー】

国際結婚を経て、小樽からアラスカに移り住んだサエコ(八千草)は、勤め先のアンカレッジ空港でかつて恋仲だった商社マン・ゴロウ(池部)と数十年ぶりで再会。若き日に愛した相手は何を思っていたのか…。当時では珍しいアラスカロケを敢行し、愛し合いながらも戦争を機にすれ違ってしまった男女の心情を倉本聰が描いた力作。かつての恋人に想いを寄せる女性を演じる八千草薫がとにかく美しい。ドラマの後半となる「第 2 部」は運河の保存をめぐる市民運動が起こっていたころの小樽が舞台。池部良の娘を演じる若き大竹しのぶの演技も初々しい。

◆上映会の概要

- 【日時】 4月26日(月) よる6時~7時頃 開演予定(上映時間94分)
【場所】 シアターキノ 札幌市中央区狸小路6丁目南3条グランドビル2F
電話011-231-9355 FAX:011-231-9356
【前売り券】 1200円 (入場整理番号つき)~シアターキノでのみ販売
【当日券】 1500円

~上映後はトークショーを開催します。

出演:長沼修(元HBC 本作では演出補として参加)
国貞泰生(HBC 総合メディア戦略局長)

◆DVD「倉本聰ドラマコレクション」

HBCは1957年からドラマ制作を始め、1958年から1993年まで、日曜午後9時の一話完結ホームドラマ「東芝日曜劇場」の作品を約150本制作しました。倉本聰氏は「うちのホンカンシリーズ」などを含め合計19作のドラマ脚本を手掛けています。今回のDVDには、その中でも傑作の呼び声が高い「幻の町」「ばんえい」「りんりんと」の3作品を収録。特典映像として、シナリオ作りでは倉本氏脚本の日曜劇場に大きな影響を受けたと語る映画監督・是枝裕和氏と倉本聰氏の対談も収められています。

- 【発売元】 HBC 北海道放送
【販売元】 ポニーキャニオン/HBC 北海道放送
【品番】 ポニーキャニオン版:PDBE56361
HBC 北海道放送版 :HBDX10324
【価格】 税込 6,600円

※3月24日(水)からHBC通販サイト「北海道発信ショップ」のほか、全国のDVD取扱店で販売中。

【お問い合わせ先】

HBC 北海道放送 ライツ・コンテンツ部
電話 011-232-5858